

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

地域交流イベント「桜まつり」

- 1 日時・会場
 - ・ 3月28日(土)
 - 9:00～16:00
 - ・ 市民スポーツセンター
- 2 内容
 - ・ 市長あいさつ
 - ・ 模擬店
 - ・ 子どもみこし
 - ・ 各団体による出し物
- 3 主催者の願い
 - ・ 年々減っている、イベントの来客数を増やしたい。
 - ・ 地域の活性化のため、地域住民の交流を増やしたい。
- 4 依頼内容
 - ・ 中学生らしい発想でイベントを盛り上げてほしい。
 - ・ アイデアをたくさん出してほしい。

【自治会長さんの話のまとめ】

読んで、あとの問いに答えなさい。

〈埼玉〉

29

〔表現〕

中学生のAさんの学校は、自治会長さんから、地域のイベントを盛り上げるためのアイデアを出してほしいと依頼を受けました。そこで、Aさんたち生徒会のメンバーは「地域のイベントを盛り上げること」について話し合っています。次の【自治会長さんの話のまとめ】と話し合いの様子を

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Aさん「これから話し合いを始めます。地域交流イベントである『桜まつり』について、自治会長さんから、イベントを盛り上げるためのアイデアを中学生に考えてほしいという依頼がありました。自治会長さんに聞いたことをまとめた【自治会長さんの話のまとめ】をもとにして、どうすれば盛り上げることができるか話し合いましょう。」

Bさん「はい。例えば子どもみこしの手伝いをするとか、各団体による出し物で、吹奏楽部がパフォーマンスをするのはどうですか。それなら私たち中学生でもできるし、家族や知り合いも見に来てくれるのではないですか。」

Cさん「様々な来客があるなら、みんなで一緒に交流できて楽しめる企画もいいですね。例えば、ゲーム大会やクイズ大会はどうですか。」

Dさん「それより、来客数を増やしたいなら、人気のあるスポーツ選手を呼ぶなんてどうでしょう。地元だけでなく、他の町からもたくさん人が来てくれると思いますよ。」

Aさん「それだと、来客数は増えるかもしれないけれど、地域の人たちの交流にはならないと思います。来客数と、地域の人たちの交流の両方を増やせるアイデアはありませんか。」

Dさん「では、ポスターを作成して事前に宣伝するのはどうでしょう。イベントに来る前から興味をもってもらえるように、手作りにしませんか。」

Bさん「いいですね。さらに、先ほどのアイデアも加えて、『桜スタンプラリー』なんてどうですか。ポスターで最初のクイズを出題しておいて、当日の受付でスタンプカードを配り、イベント会場に設置するクイズにも答えてスタンプを集めてもらうのです。地域に關するクイズにすれば、それを話題に来客同士の会話が増えるのではないのでしょうか。」

Aさん「いいですね。それならイベントに行くきっかけになり、来客数も

15

10

増えそうですね。また、にも役立ちそうです。他にも、アイデアを話し合ってみましょう。」

話し合いが続く。

30

(1) 話し合いの様子におけるAさんの「それだと、来客数は増えるかもしれないけれど、地域の人たちの交流にはならないと思います。来客数と、地域の人たちの交流の両方を増やせるアイデアはありませんか。」という発言の説明として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 直前の提案の問題点を指摘しながら、議論する内容について方向性を提示する発言。

イ 直前の提案の根拠について評価し、他校の中学生から意見をもらおうとする発言。

ウ 直前の提案のよさを認めながら、みんなのアイデアをまとめて観点別に分類する発言。

エ 直前の提案を引用することで、自分の提案の信頼性を高めようとする発言。

(2) Aさんの発言のにあてはまる言葉を、【自治会長さんの話のまとめ】の中から七字で書き抜きなさい。

(3) 話し合いの様子について述べた文として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア Aさんは、「いいですね」とCさんの提案に賛同したうえで、自分の案を再度提示して結論を出すように全員に呼びかけている。

イ Bさんは、「先ほどのアイデアも加えて」と述べてから、DさんのアイデアにCさんのアイデアを加えた新たな案を提示している。

ウ Cさんは、「みんなで一緒に交流できて楽しめる企画もいいですね」とBさんのアイデアを引用することで、提示された意見を確認している。

エ Dさんは、「来客数を増やしたいなら」と述べてから、主催者の願いをふまえたゲーム大会やクイズ大会などの具体案を提示している。

30

〔表現〕

春香さんは、国語科の授業で意見文を書く学習をしています。次は、春香さんが書いた「構成メモ」と「修正後の構成メモ」、「意見文」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

〈奈良〉

【構成メモ】

〔意見〕

・「心のバリアフリー」を広めた
い。

〔根拠〕

・ 脚を痛めた経験
・ 声かけをためらう理由

【修正後の構成メモ】

〔意見〕

・「心のバリアフリー」を広めた
い。

〔根拠〕

・ 脚を痛めた経験
・ 声かけをためらう理由
〔意見〕
・ 自分から「心のバリアフリー」
を実践する。

【意見文】

私は、自分の経験を通して「心のバリアフリー」の大切さを実感した。多様な人々が共生する社会の実現を目指して、「心のバリアフリー」を広めていきたいと考える。

私は先月、部活動の練習中に脚を痛めて、少しの間、松葉杖まつばづえを使いながら生活をした。階段の上り下りや扉の開け閉めなど、私が困っている時に多くの人から「手伝いましょか。」と声をかけていただいた。自分から助けを求められずにいた私は、大変助かった。

一方で、困っている人になかなか声をかけることができないという人もある。令和元年に国土交通省が行った『心のバリアフリー』に関するアンケート調査の中に、声かけや手伝いをしなかった時の理由として、「困っているかどうかわからなかった」「声をかけても断られるのではないか」という回答があった。以前は私も同じように、声かけをした
り電車で座席を譲ったりすることに対して消極的であった。それは、私の

10

心の中に他者に対する無関心さや自分の好意を断られて傷つきたくないという思いがあったからだと思い至った。しかし、そのような考えが目に見えない様々なバリアにつながっているのではないかと考え、自分を変えていこうと思うようになった。

今後、私は、相手が何に困っているかを想像し共感する力を磨いていこうと考えている。困っている人に対して、適切な距離感で声かけや手伝いをするのが大切だと思うからだ。自分が行動することで、身近なところから「心のバリアフリー」を広めていきたい。

20

(1) 春香さんは、友達のアドバイスにより【構成メモ】に修正を加え、【修正後の構成メモ】を作りました。友達からどのようなアドバイスがあったと考えられますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 声かけをためらう理由を世代ごとに整理して特徴を示すようにしたらよいと思う。

イ 「心のバリアフリー」が広がるメリットを具体的に示すようにしたらよいと思う。

ウ 自分が今後実践しようとしている具体的な行動を示すようにしたらよいと思う。

エ 積極的に声かけをしている人の実践例を追加して示すようにしたらよいと思う。

(2) 【意見文】からわかる春香さんの述べ方の工夫として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 問いかけるような言葉を用い、興味を喚起させるよう述べている。

イ 資料を効果的に引用し、自らの体験と結びつけながら述べている。

ウ 接続する言葉を効果的に用い、様々な話題を論理的に述べている。

エ 多くの会話表現を用い、文章に臨場感をもたせるよう述べている。



31 〔表現〕

四人の中学生が、日本語の特徴とその使い方について考える授業の中で、【資料】を見ながら話し合いをしています。次の【話し合い】を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔岡山〕

【話し合い】

実香

【資料】で、何か気になるものはあるかな。

修治

僕は、【資料】に示された年齢層別の割合の違いに着目してみたよ。

〔a〕がわかるね。これは僕の考えだけど、昔に比べて現代は、手紙を書く機会が少ないよね。そのため、比較的若い世代の人は時候の挨拶になじみが薄くなっていることが、上の年齢層より割合が低い理由の一つだと思うよ。

京子

たしかに、私もSNSなどで短いやりとりをすることがほとんどで、その時に時候の挨拶は入れないね。私は、手紙の書き方の授業で春の時候の挨拶に関することばを調べて、「春陽」や「花冷え」などのことばを知ったよ。「花冷え」は、桜が咲く頃に一時的に寒くなることらしいよ。

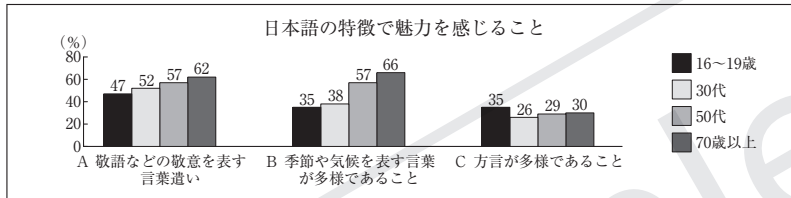
実香

普段の生活ではなじみがないことばも、意味を知ると魅力が深まるね。勇紀さんは、何かあるかな。

勇紀

京子さんが言った、春に関することばを聞いて、沖縄県に住む祖母と話した時のことを思い出したよ。沖縄県では、春分から梅雨入り前までの時季を、「自然が潤い初める」という意味で「うりずん」

【資料】



（文化庁『令和5年度 国語に関する世論調査』を参考に作成）

20

15

10

5

と聞いたらいいんだ。これは【資料】のCの項目とも関連していると**〔b〕**思うけど、どうかな。

修治 そうだね。地域によって気候や生活に様々な違いがあるから、それに合わせて、方言にもいろいろなことばが存在するんだね。

(1) 【資料】から読み取れるものとして、〔a〕にあてはまる内容として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア Aの項目に魅力を感じる人は、すべての年齢層で半分を超えていて、70歳以上では62%になること

イ Bの項目に魅力を感じる人は、50代以上は半分を超えるけれど、30代以下では40%未満であること

ウ Bの項目に魅力を感じると答えた16～19歳の人は、Cの項目にも同様に魅力を感じると答えたこと

エ A～Cすべての項目で、年齢層が高くなるほど、魅力を感じると答えた割合が高くなっていること

イ 「これは【資料】のCの項目とも関連していると思うけど、どうかな」という勇紀さんの発言の意図として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア これまでの話し合いの中で出てきたことばの具体例は、季節や気候を表すことばであると確認している。

イ 季節や気候を表すことばによって、方言が多様化するという根拠を資料から引用し、意見を求めている。

ウ 沖縄県で、季節や気候を表すことばの方言として「うりずん」を使うことが信じられず、質問している。

エ 季節や気候を表すことばの多様さは、方言の多様さにつながるかもしれないと考え、同意を求めている。

□